

コンデンサ設備で電力品質向上し、省エネに貢献

高圧進相コンデンサ設備 Q-PAC

ココが
ポイント

古い受電設備を新しくするだけで
電力使用量を大幅に低減できます

改善
効果

電力消費量約50%低減できます

背景

コンデンサ設備はこれまで省エネの対象として見られることはありませんでした。しかし、電力需給の逼迫もあり、その省エネ効果が注目されています。

特長

高圧進相コンデンサ設備(直列リアクトル付き)は、電気エネルギーの効率利用を促進します。
新しい高圧進相コンデンサ設備に更新するだけで電力量料金やCO₂排出量が大幅に低減できます。

事例

| 輸送用機器製造業 A社

従来品の高圧進相コンデンサ設備を低損失形高圧進相コンデンサ設備に更新(更新進相設備容量1,000kvar×30台)。電力量料金、及びCO₂が約44%に低減。

| 電気機器製造業

標準品の高圧進相コンデンサ用モールド直列リアクトルを低損失形高圧進相コンデンサ用モールドリアクトルに新設(新設リアクトル容量:19kvar×11台)。電力量料金、及びCO₂が約50%に低減。

| 輸送用機器製造業 B社

従来品の高圧進相コンデンサ設備を低損失形高圧進相コンデンサ設備に更新(更新進相設備容量:600kvar×2台)。電力量料金、及びCO₂が約60%に低減。



高圧進相コンデンサ設備 Q-PAC